

もし移民当局の職員と、言語や障害のために意思疎通が難しい場合は どうすればよいですか？

この「赤いカード（レッドカード）」や「Know Your Rights（あなたの権利）」カードを使って、黙秘の権利を行使する意思を示すことができます。なお話した内容は不利な証拠として使用される可能性があることを忘れないでください。対応中はできるだけ冷静さを保ち、逃げたりパニックになったりしないように心がけましょう。必要に応じてカードを提示することで、言葉を使わずに黙秘の権利を主張することができます。

カードは ilrc.me/protect から印刷できます。下記参照。

あなたには憲法で保障された権利があります。

もし、移民局の職員がドアをノックしても、ドアを開けないでください。

移民局の職員が話しかけても、質問には答えしないでください。
なぜなら、あなたには黙秘権があるからです。

そして、弁護士と相談する前に、何も署名しないでください。
弁護士と話す権利があります。

自宅にいない場合は、あなたが職員に自由に行ってもいいかどうかを
確認して、職員が許可するなら、冷静なまま場を離れましょう。

このカードを職員に渡してください。家にいる場合は、窓辺から職員
に見せてください。あるいは、カードをドアの下から滑り込ませてくだ
さい。

I do not wish to speak with you, answer your questions, or
sign or hand you any documents based on my 5th Amendment
rights under the United States Constitution.

I do not give you permission to enter my home based on my
4th Amendment rights under the United States Constitution
unless you have a warrant to enter, signed by a judge or
magistrate with my name on it that you slide under the door.

I do not give you permission to search any of my belongings
based on my 4th Amendment rights.

I choose to exercise my constitutional rights.

These cards are available to citizens and noncitizens alike.

以下は、移民当局の職員と接した際に想定される会話の例です：

公共の場	職場	自宅
移民当局の職員があなたに 近づき、在留資格について 質問することがあります。	移民当局の職員 が職場に来るこ とがあります。	移民当局の職員が逮捕したり、家の 中を搜索したりするために、住居に 立ち入ろうとする場合があります。

在留資格に関係なく、話したくない場合は黙秘権があります。もし質問に答えたり、自
分から質問したりする場合は、次のように対応することができます。

- 通訳やサポートを要求してください。
- 弁護士を要求してください。

- 公共の場では、「私はもう行ってもよいですか？」と尋ねてください。
 - 自宅では、退去を要求してください。
 - 合法的な在留資格の証明を提示してください。
 - 黙秘権はいつでも再度主張することができます
-

拘束されている場合

あなたには、自分が理解できる言葉や方法で説明を受け、意思疎通を行うことができる権利があります：

- 通訳または手話通訳を要求してください。
- 翻訳された書類の提示を要求してください。
- 障害に対する支援（合理的配慮）を要求してください。
- 裁判においても、通訳や必要な支援を受けることができます。
- 各段階で、通訳や書類の内容が理解できない場合は、理解できていないことを可能な限り伝えてください。

内容を理解していない書類には、同意や署名をしないようにしてください！

通訳、翻訳された書類、または障害などに対する支援を求めても、移民当局が必ずしも応じるとは限りません。そうした支援が実際に提供されなかった場合でも、支援を要請したという事実は、後に拘束からの釈放を求めたり、強制退去に異議を申し立てたりする際に、考慮される可能性があります。

支援情報

- **迅速対応ホットライン（Rapid Response Hotlines）**：お住まいの地域の迅速対応ネットワークを見つけ、地域での移民取締りの状況を報告するには、
<https://www.ccijustice.org/carrn> をご覧ください。

- **移民家族のための地域連携拠点**（Regional Network Hubs）：お住まいの地域の拠点をを見つけ、法律サービス提供者、教育、情報を探し出すには、
<https://www.ilrc.org/regional-network-hubs> をご覧ください。
- 障害のある移民に関するより詳細な法的情報は、Disability Rights Education and Defense Fund（DREDF）の「移民手続および手続における合理的配慮に関する権利を知る（Know Your Rights: Reasonable Accommodations in Immigration Procedures and Proceedings）」<https://dredf.org/kyr-ras-immigration-procedures-and-proceedings/>、および「よくある質問：障害、移民、および ICE との接触（Frequently Asked Questions: Disability, Immigration, and Encounters with ICE）」<https://dredf.org/faqs-disability-immigration-and-encounters-with-ice/> をご参照ください。

このダウンロード用ガイドは、Immigrant Legal Resource Center (ILRC)、California Rural Legal Assistance Inc. (CRLA)、Legal Aid Foundation of Los Angeles (LAFLA)、Chinese for Affirmative Action (CAA)、および Asian Resources Inc. (ARI) が Tommy Takahashi の翻訳協力を得て制作したもので、移民取締当局への対応時に、言語や障害などに関係なく、すべての移民が自分の権利を守れるよう支援することを目的としています。